

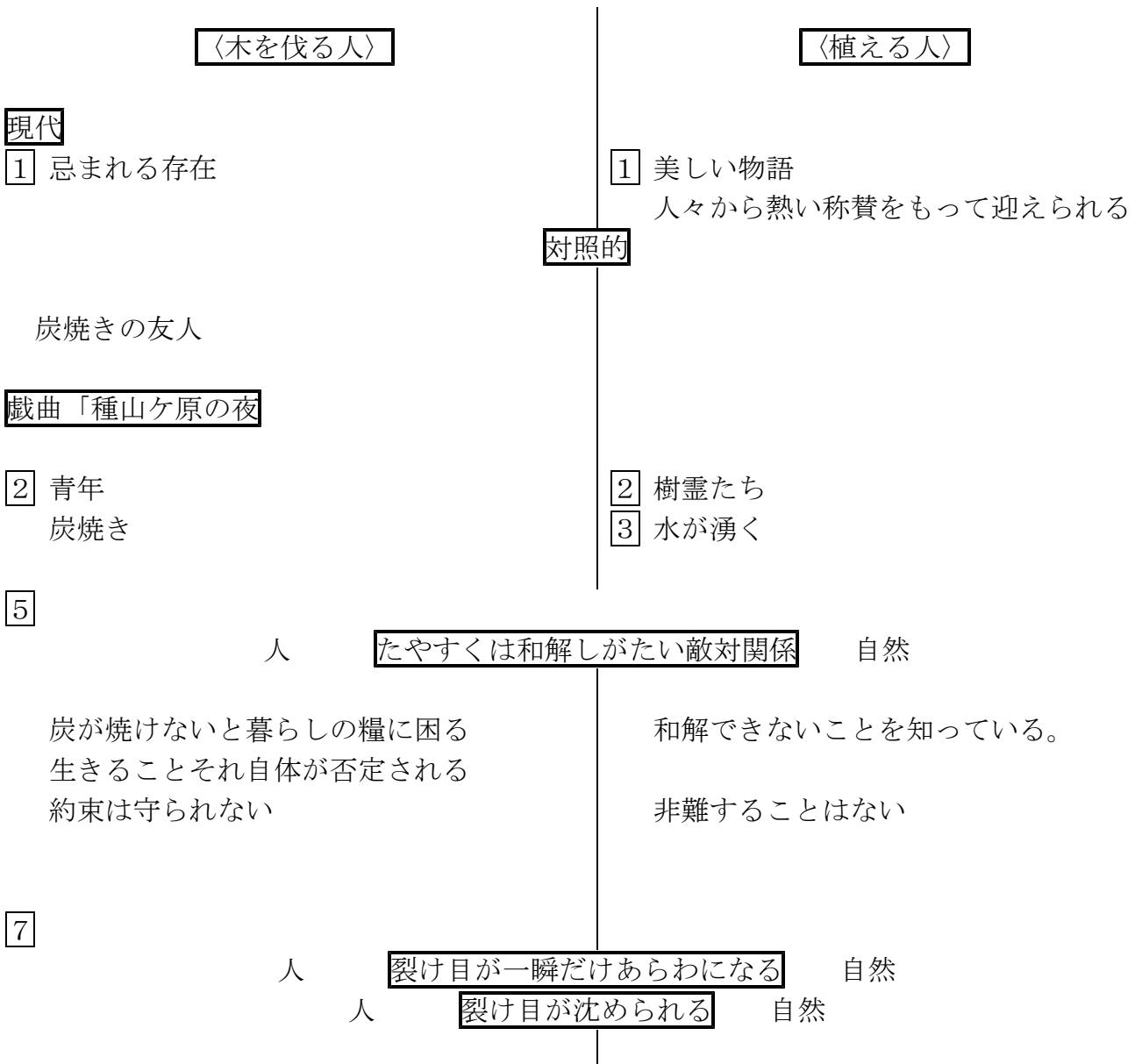
☆3つの時代を表す言葉を見つける。

縄文時代・近代・現代

☆1～9 〈木を伐る人〉／〈植える人〉の対比の構造に文中の表現を整理する。

※語や表現をそれぞれの欄に入れる。関係性を表した表現は中央に記し、□で囲む。

※「オリジナルノート」を作ることを心がける。



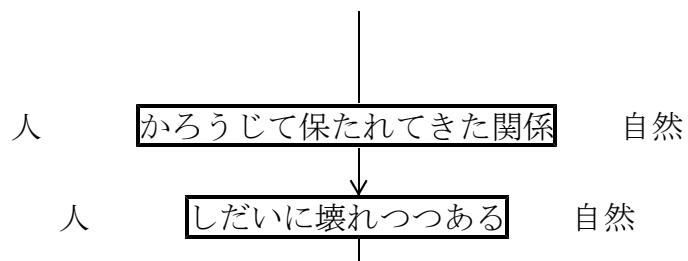
問、この比喩表現はどういうことか？説明しなさい。

人と自然は互いに共存することができないものであるということは明らかであるが、それはちょっとした時に認識されるが、自然の寛容さにより普段は意識しない状態になっている。

問、9の言葉を使って説明する。

人は森の一部を殺しながら生きるために、人と森には和解しがたい裂け目が横たわっているが、どこかで折り合いを付けて共存している。

8 大正時代（近代）



9 人の論理

人は一本の木も伐らずに生きてゆくことなど、できはしない。人は森を殺す、その一部を殺し、奪い、侵すことによって生活の糧を得る、そして人としての生存を維持してゆくことができる。

森の論理

人が木を一本も伐らない、そうすれば、山はいつまでもこんもりと茂り、水も湧き続ける。

人の論理

和解しがたい裂け目

森の論理

人の論理

折り合いを付けてきた

森の論理

人は「自然の中の異物」